

牛窓神社だより

備前 岡山

第27号

平成27年7月30日
発行

〒701-4302
岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2147

牛窓神社社務所
TEL 0869 (34) 5197



終戦七〇年の 夏を迎えて想うこと

宮司 岡崎 義弘

牛窓神社を大切に思われる地元氏子崇敬者を始め、切っても切れない奇しき御神縁に結ばれた全国各地のゆかりある全ての皆様方には、連日の厳しい暑さの中、日々お元気に過ごしてのことと存じます。

常日頃は、牛窓神社以下、町内各神社の維持運営並びに祭典の厳修に付きましては、物心両面の温かい御理解、御協力と御励ましを賜わり、心から深く御礼申し上げます。

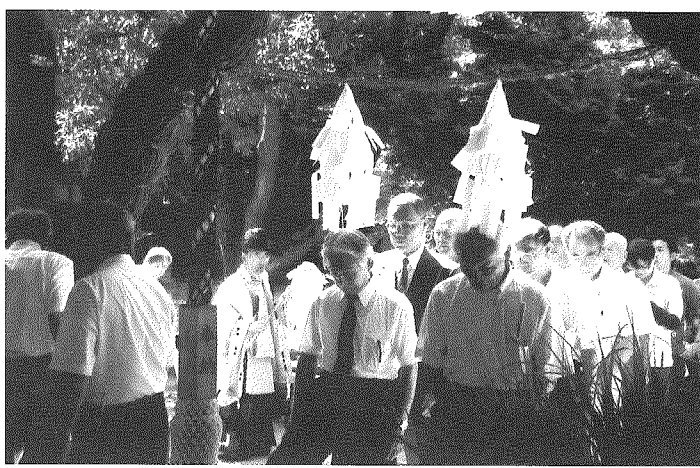
さて、今年は何れも先の大戦が終結して早くも七〇年目の節目を迎えます。祖国日本が直面した国難に当たり、多くの人が戦場に赴き生命を懸けて戦い、終には遠き異国の地にて、或は戦場職域にて、散華されたのであります。

戦後七〇年を経た今日でも未だ祖国にご帰還いただいていない御遺骨が世界の各地に眠って居られます。先般、天皇皇后両陛下におかれましては、激戦地の一つであるパラオ共和国のペルリユ島に行幸啓遊ばされ、親しく慰霊の祈りを捧げられました。尊い思召しに彼の地に鎮まり坐す幾多の御英霊も感涙にむせばれたことと拝します。私達はこのような両陛下の大御心を仰いで「今日の平和な日本の礎となられた多くの先人達の御労苦」に深い感謝の気持を決して忘れてはなりません。

祖国日本の永遠の平和を願って一命を賭して戦って下さった、御英霊の雄魂鎮まり坐す靖国神社や各県の護国神社へ、終戦記念の八月十五日前後には、一人でも多くの国民が感謝と慰霊の参拝をするべく、神社本庁及び神道政治連盟では広く呼びかけています。

ちなみに、港町牛窓地区出身の御英霊の御神霊は、牛窓神社境内の一角「牛窓招魂社」にお祀りしています。

是非一度御参拝下さい。



夏の風物詩「茅の輪くぐり」に祈りを込めて参拝者続く!! (8月31日まで)

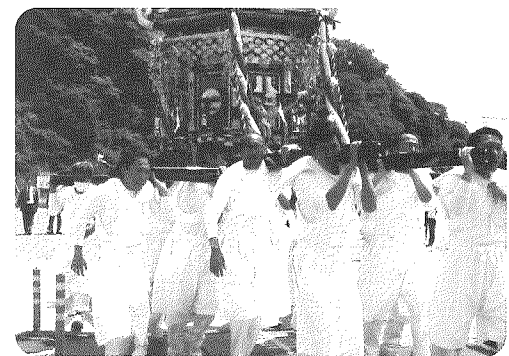
茅の輪くぐりの神事に 是非ご参加を!!

本日七月三十日に、牛窓神社の夏祭り「茅の輪くぐり」の神事が行われました。拝殿前に設置された直径二メートルの大きな茅の輪を三度くぐって、半年間の、罪、穢れ、災いを祓い清め、家内安全や無病息災を祈願し、そのあとカヤを一本持ち帰り、丸い輪にして自宅の玄関等にささげ厄除けにします。

大きな茅の輪は、今年も氏子総代さん達が昨日二十九日、日の出前にカヤを刈り、心をこめて作って下さいました。八月三十一日まで置いてありますので、どうか皆様、御家族揃って、ひと夏を無事に過ごすことができようように、牛窓神社伝統の「茅の輪くぐり」の神事に御参拝され、古来より伝わる先祖先輩の知恵にあやかってみて下さい。

また、氏子の皆さまには、各戸にカヤ一本と祓い旗一枚を配布しますので、丸い輪にして旗をさし、玄関先に向こう一年間大切にして下さい。なお、昨年の古い茅の輪はお宮にお返し下さい。

今年も充実の春祭り 天晴関町男児の心意気



五月十日(日)牛窓神社伝統の春祭りが行われました。一日中申し分のない日和に恵まれ、重厚なる胸六角の名物みこしが町内狭しとばかり、丸一日をかけて力強く勇壮に牛窓地区内を巡行しました。

おみこし当番は関町地区。

区長の東原一郎氏、氏子総代の上野武志氏を始め、十戸長さん達も一致結束して、早くから心を込めて諸準備を進めて下さいました。

関町の男児の皆さんは(地区外の助っ人の男子も含めて)一班と二班に分かれて男気を大爆発させて、天晴に、真剣に、和気あいあいにおみこし担ぎの大役を果たして下さいました。

おかげ様で、多くの人達に感謝と喜びを与えた充実悔い無き春祭りとなりました。

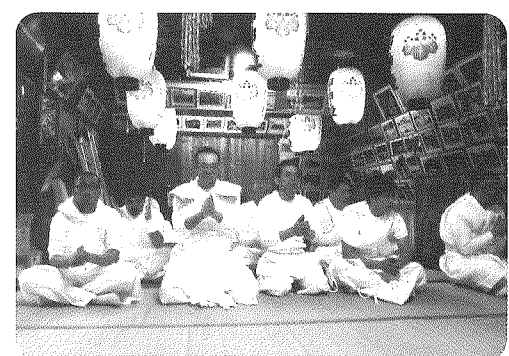
関係された全ての皆様から深く感謝を申し上げます。

**お疲れさまでした。
お世話になりました。**

なお、来たる十月二十五日(日)の秋祭りのおみこし当番は、本町・西町地区であります。

(二面に続く)

(写真提供 万城憲一郎氏、金谷芳寛氏、寺嶋雅弘氏)

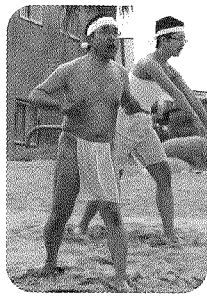


今年も岡崎宮司さん

寒中褌に参加

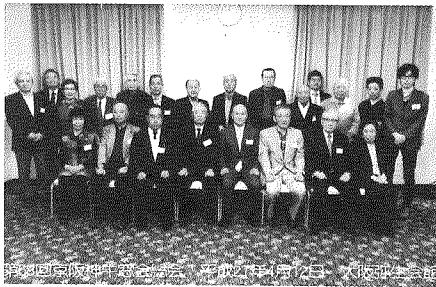
二月十六日牛窓海水浴場において、岡山県神道青年協議会（青江宏文会長）主催の寒中褌の研修会が行われました。女性一名を含む約十六名の参加者が、水温七度と身を切るような冷たい海水で身心を清めて、神職として、或いは社会人として向こう一年間、元気に生きる力を充電しました。

牛窓神社の岡崎宮司も元気に参加。来年還暦を迎える岡崎宮司は、「来年の褌は是非赤い褌で参加したい」と意欲を燃やしていました。



かわらぬふる里へのエール

第六十八回京阪神牛窓会



牛窓町出身の方々で、主に京阪神地域にて活躍中の人達の集い「第六十八回京阪神牛窓会」（会長見戸豊二氏）が四月十二日大阪市内で開かれ、ふるさと談議に花が咲きました。

牛窓からは、岡崎義弘宮司以下、高原能夫、岡國太郎、成本崇の各氏が参加。また今年も武久頭也瀬戸内市長も参加して、ふる里の近況を報告させていただきました。

なお、今回の牛窓会の席上、次の方々が牛窓神社に向こう一年分の祭典協力金を奉納して下さいました。誌上をお借りして、報告感謝申し上げます。

見戸豊二 福江 彌
川野修平 川野隆平 藤原 宏 佐々木正明
永井三郎 岡崎 稔 川野将平 小松眞子
吉栖尚子（順不同・敬称略）

第四回七夕祭り

銀河の星々に願いを!!



七夕を前に今年も御社頭に設けられた福笹には、多くの人達の素朴で真剣な願いが込められた色とりどりの短冊が奉納されて、御神前が華やいだ雰囲気になりました。

七月七日の夜十時から、岡崎宮司が斎王となって「第四回七夕祭り」の神事が催行され、短冊に込められた善男善女の皆様の願いの一切を、銀河の星々にしっかりと届けさせていただきました。

井永八幡宮 田中律子宮司さん御一行

二月十五日（日）、井永八幡神社（広島県府中市上下町井永七〇六）宮司 田中律子氏に引率され、総勢四十二名の氏子総代さんや一般氏子の方々（兼務神社四社合同）が打ち揃われて牛窓神社に正式参拝をされ、岡崎宮司が約一時間「地方の神社の御神徳発揚について」と題して講話を行いました。

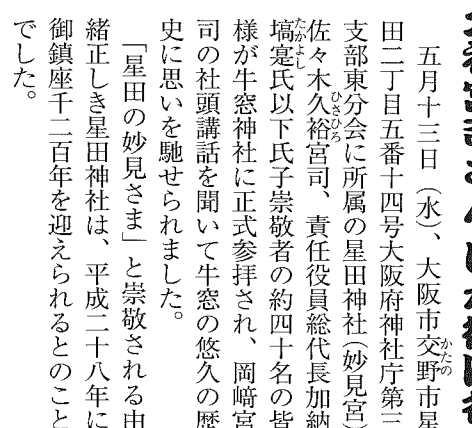
田中律子宮司さまとは、その後も交流が続いており、尊く有り難いことであります。



星田神社 佐々木久裕宮司さんほか御同行

五月十三日（水）、大阪府交野市星田二丁目五番十四号大阪府神社庁第三支部東分会に所属の星田神社（妙見宮）佐々木久裕宮司、責任役員総代長加納瑞寛氏以下氏子崇敬者の約四十名の皆様が牛窓神社に正式参拝され、岡崎宮司の社頭講話を聞いて牛窓の悠久の歴史に思いを馳せられました。

「星田の妙見さま」と崇敬される由緒正しき星田神社は、平成二十八年に御鎮座千二百年を迎えられるとのことでした。



津田永忠事蹟顕彰会 御一行の皆さん

三月二十九日（日）、津田永忠事蹟和気町顕彰会（和気郡和気町吉田八六一）会長有吉貢氏以下四十八名のメンバーが雨の中にもかかわらず、牛窓町ボランティアアガイドさん達の案内にて牛窓神社を訪れました。拝殿に正座して宮司が祝詞奏上、その後、宮司の話しを聞きながら楽しいひとときを過ごされました。

宮司さん西大寺青年会議所にて熱く語る



六月十日（水）夜八時から八時三十分まで、牛窓神社岡崎宮司は、一般社団法人西大寺青年会議所に招かれて約一時間、講話をする機会に恵まれました。

演題は「宮司さんのよもやま話」として、

- 一、日本の神話 一、日本の神さま
- 一、日本の政治 一、日本人としての幸せ
- 一、天照大御神の心の継承
- 一、日本人にとって神社への参拝の意義

などなど、内容は多岐にわたり、地元の経済界を背負って立つ、期待の若手経営者の人々の心の琴線に触れるものでした。日本人として生きる上で是非とも心の糧にしていただきたいと最後を締めくくられました。

宮司さんせとうちキラリ☆くらぶにて牛窓の悠久の歴史を語る



六月十八日午後六時三十分から八時まで、岡崎宮司は、せとうちキラリ☆くらぶ6月例会に招かれて「神功皇后ご活躍の聖地 牛窓」と題して講話の機会を与えられました。

- 一、牛窓神社の主祭神である神功皇后について
- 一、牛窓の地名の由来と神功皇后伝説
- 一、牛窓神社の初源
- 一、竹久夢二と牛窓神社の絵馬
- 一、牛窓の素晴らしき秋祭り

などなど、岡崎宮司は身振り手振りを交えつつ、牛窓の神話に基づいて、古代より現代に至る迄の歴史を概説して、多くの人々に牛窓の長所を深く認識してもらおうことができました。

御礼状 牛窓神社 宮司 岡崎義弘様

せとうちキラリ☆くらぶ 立岡脩二 前略 昨日は大変お忙しい中、しかも夜分に、キラリ市民講座でのご講演を賜り誠にありがとうございました。神功皇后様や牛窓神社の由来などの史実や伝説をユーモアを交えてお話しいただき、あつという間に時間が過ぎてしまいました。足元の悪い中、大勢の方が市内はもとより市外からも聴講においでいただき、これも宮司様のネームバリューによるものと感謝いたしております。皆様は大満足で帰途につかれました。

牛窓神社お茶席三年目の おもてなし



牛窓神社第三回お茶接待の会が二月十一日の建国記念奉祝祭に併せて行われました。表千家の松本宗純先生がお点前を御神前に献じた後、和服姿のお弟子さんが参拝者たちに一服のお茶を立てて和やかに交流しました。

愛媛県特産の「姫だるま」の奉納

六月二十一日（日）、「あいの光 院牛窓」理事長青木佳之先生の仲介にて、牛窓神社へ愛媛の伝統工芸品「道後の姫だるま」が奉納され話題になっていきます。

神功皇后伝説に起因する「道後の姫だるま」は、正に牛窓神社に相応しい一品です。

今後は、この姫だるまの力も借りて多くの人々の人生の充実を祈りたものです。

代表理事 久保美穂さま
理事 八木欣道さま
理事 内藤正人さま
理事 池田武仁さま
青木佳之さま
鈴木一史さま

ありがとうございます。

皆さん、牛窓神社主催のおもしろくて、為になる研修旅行に奮って御参加下さい!!

牛窓神社では、平成元年以来、2年に1度、研修旅行を行っています。

今年は、福井県と石川県の由緒ある諸社の巡拝と名所旧跡を廻る、**おかげ参り**を計画しました。

宮司さん引率の研修旅行は、とっても楽しくてためになると定評があります。

あなた様もどうかおかげを頂けますよう御一緒しませんか。

1. 月日

平成27年11月5日(木)～11月7日(土)
2泊3日の名湯巡りの旅でもあります。

1. 旅程

月日	コース
11/5 (木)	各地 — 備前IC — 敦賀IC — 塩荘すずかけ亭(昼食) — 氣比神社(参拝) — 金崎宮(参拝) — 劔神社(昇殿参拝) — 芦原温泉【宿泊】
11/6 (金)	ホテル — 東尋坊(散策) — 永平寺(拝観) — 永平寺門前(昼食) — 菅生石部神社(参拝) — ゆのくにの森(見学) — 山代温泉【宿泊】
11/7 (土)	ホテル — 白山比咩神社(昇殿参拝) — 大野湊神社(昇殿参拝) — 兼六園(昼食・見学) — 金沢西IC — 備前IC — 各地

日本人として生涯に一度は
参拝したいお宮を厳選しています!!

1. 参加費用 57,000円(正式参拝玉串料3000円含む)

1. 募集人数 バス2台 最大80名
7月2日現在40名の申し込み有り
(最少催行人数 バス1台42名)

1. 申込先 牛窓神社社務所(0869-34-5197)

1. 申込金 10,000円

1. 参加資格 町内外を問わずどなたでもOKです。

編集子のつがやき

牛窓を愛する多くの人達の熱意が実って来る八月一日に、「牛窓花火大会」が美事に復活します。
「花火あげ隊」(隊長・成本崇さん)の人達の懸命の募金活動に、多くの人々の善意が集まっています。
当日は、必ずや晴天に恵まれ、牛窓の夜空に大輪の花が咲き、地域が元気づけられることでしょう。
来年も、さ来年も、ずっつとずっつと花火大会が継続されることを願って止みません。
次回は、平成二十八年元旦の発行予定です。
どうかご期待下さい。

(編集子)

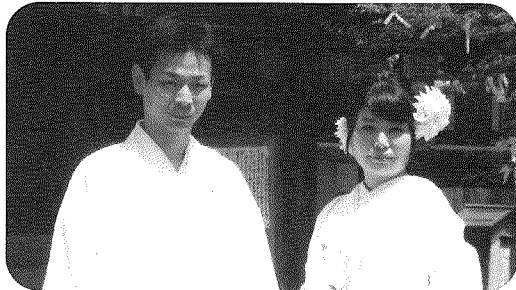
初宮参りおめでとう!!

(平成二十六年十二月二十四日)
平成二十七年七月二十一日

御誕生心からおめでとう!!
全ての子宝の皆さん、すくすくと育って下さいね!!



- | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|----------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 小池 勇翔くん | 太田 昌孝くん | 林 美咲ちゃん | 岡崎 笑玖くん | 根木 政明くん | 藤原 由衣ちゃん | 上田 結愛ちゃん | 林 美織ちゃん | 長田 姫奈ちゃん | 松田 夢杏ちゃん | 柴田 美風ちゃん | 三竿 琴子ちゃん | 天間 聖くん | 下地 一歌ちゃん |
| 八木 日向ちゃん | 神寶 一志くん | 山本 結奈ちゃん | 林 陽太くん | 豊田 彩乃ちゃん | 岡崎 凌空くん | 山本 愛ちゃん | 三谷 圭くん | 竹内 結音くん | 原田 椋平くん | 林 莉玖くん | 児島 齋くん | 西村 春香ちゃん | 馬場 啓行くん |



挙式日 平成27年4月18日
新郎 牛窓町長浜 時 實 高 治さん
新婦 大阪府門真市 道 脇 梓さん



挙式日 平成27年5月9日
新郎 岡山市北区佐山 川 西 慎二 郎さん
新婦 岡山市北区大供本町 犬 飼 裕 子さん



挙式日 平成27年5月16日
新郎 井原市青野町 西 田 有 佑さん
新婦 倉敷市中島 藤 木 慶 子さん

宮司さんのひとこと

皆さん、どうかあたたかい家庭を築いて
素晴らしいお父さん・お母さんになって下さいね。

さるどし 申歳の年男・年女の皆さんへ 来年の絵馬奉納に御協力を!!

さて、読者の皆さん、来年平成二十八年は申の歳です。
年男・年女に当たる方で、牛窓神社恒例の「ジャンボエトの絵馬」の奉納に御協力いただける方は、どうぞ早めに牛窓神社宛にお申し込み下さい。

協力金 10,000円

募集人数 先着12名(町内外・年齢は不問)

※絵馬は牛窓神社の境内に1年を通じて飾られます。

牛窓神社氏子総代会一同

暑中お見舞い申し上げます

代表役員	宮司	岡崎 義弘
役員	(関町)	上野 武志
	(本町)	上寺 祥一
	(栄町)	万城憲一郎
顧問		服部 恒雄
		高祖 日出夫
		服部 弘平
相談役	(大浦)	炭田 幸郎
氏子総代	(幡)	中住 雅明
	(大浦)	森藤 弘幸
	(東町)	鹿村 啓一
	(〃)	山本 啓吉
	(〃)	久保 清
	(前島)	山中 保彦
(代理)	(〃)	川野 利一
	(西町)	山田 護
	(中浦)	山田 正福
	(〃)	竹村 正
	(綾浦)	炭田 康行
	(〃)	小竹 弘之
	(紺浦)	真田 益三
	(〃)	山本 賢治
	(師楽)	(敬称略)

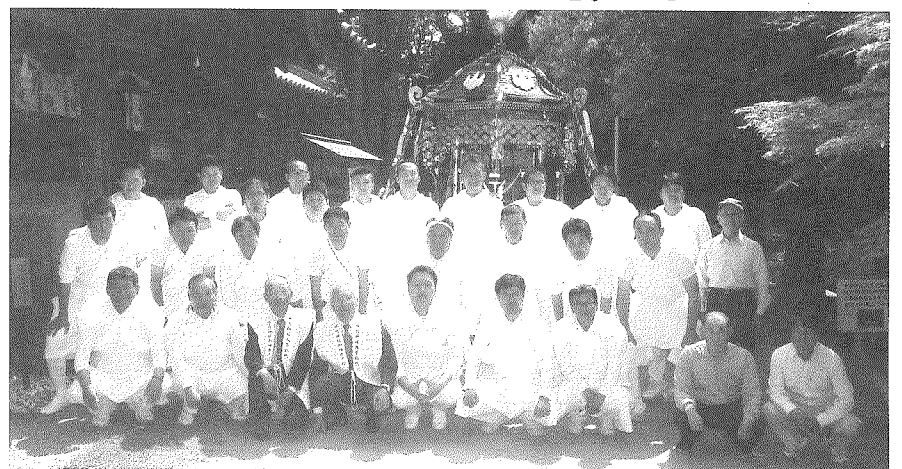
関町地区 おみこし担ぎ 奉仕者名

午後の部 二班の皆さん

午前の部 一班の皆さん



牛窓神社春祭り 神輿巡行 (関町区) 平成27年5月10日



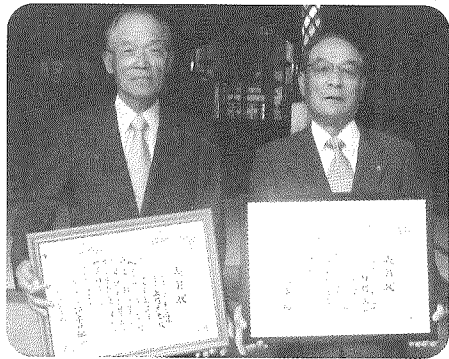
牛窓神社春祭り 神輿巡行 (関町区) 平成27年5月10日

坪井裕一郎	山本英樹	上岡光義	横山和生	尾田隆夫	東原壮助	上野由人	坂口義勝	岡國太郎	森 稔倫	石井泰三	阿部和男	山本拓己	成本 崇
下川倫史	山本直樹	西村研一	山下貴司	竹原裕雅	石原芳高	上野幸児	東原健悟	井上和明	岩藤 誠	井上一生	山本 憲正	岩藤 誠	井上一生
(敬称略)	瑞枝権禰宜	青砥康彦	東原一郎	上野武志	岡崎宮司	寺嶋雅弘	祇園佳克	山本 憲正	井上一生	山本 憲正	井上一生	井上一生	井上一生



高祖 健	成本 崇	楠 英明	東原 壯助	高祖 友康	小川 真吾	東原 健悟	津村 啓介	西村 研一	梶本 邦正	横山 和生
奥山 真弘	岩藤 誠	福原 伸二	寺嶋 雅弘	梶本 晃正	菅木 健司	下川 倫史	森 稔倫	下川 倫史	森 稔倫	祇園 絃之
西村 文正	東原 和郎	上野 武志	東原 一郎	高祖 涉	祇園 佳克	森 謙治	山本不二夫	森 謙治	山本不二夫	三枝 敏邦

岡山県神社関係者大会にて 二人の総代さんが表彰される



四月十七日、岡山市民会館にて第五十三回「岡山県神社関係者大会」が開催され、神社関係者の功労表彰式では、牛窓神社から二名の総代さんが表彰の栄に浴されました。

一人は関町の 上野武志さん、もう一人は綾浦の 竹村正さんです。お二人は揃って九年以上の長きに亘り牛窓神社のために、氏子総代として力を尽くしていただいております。

この表彰を機に、益々お宮の発展のため、御活躍の程、御期待申し上げます。

おめでとうございます。

六組誕生!! はじめてのカップリングパーティー

四月二十六日(日)、牛窓神社とホテル・リマリーニを会場に「第一回の出会いの集い」カップリングパーティーが行われました。

地元牛窓地区の他、全県下から(遠くは東京・大阪・神戸からも)男性二十一名、女性二十二名が参加した今回は、まず牛窓神社で「恋愛成就」の御祈願を行い、ホテル・リマリーニに会場を移して、自己紹介タイムやビンゴゲームで楽しく盛り上がりました。結果は何と「六組のカップル誕生」となり、素晴らしい成果を挙げることができました。

当日参加して下さった男女の皆さまを始め、全面協力して支えて下さった全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

「また、第二回目開催となりましたなら、更に内容充実して臨みたい」と、岡崎宮司は意欲的に語っておられました。

恋人の聖地 牛窓

4/26 SUN

●時間 男性 9:30-16:30
女性 10:30-16:30

●場所 牛窓神社 岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓1317
ホテルリマリーニ 岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓1310B

●料金 男性 ¥6,000 女性 ¥5,000
※料金は税込にてお支払いとなります

●服装要領
・結婚を前向きに考えている25~45歳の單身男女
・参加人数 40名
・当日の服装については、男性はスーツまたはジャケット、女性はパーティーに準ずる服装(ワンピース等)

●SCHEDULE
9:30 男性集合 牛窓神社にて結婚祈願
10:30 女性集合 牛窓神社にて結婚祈願
12:30 自己紹介タイム
14:00 男性 プリアプローチタイム
15:00 女性 プリアプローチタイム
16:00 恋愛ビンゴゲーム
16:30 カップリング発表

「第四十八回

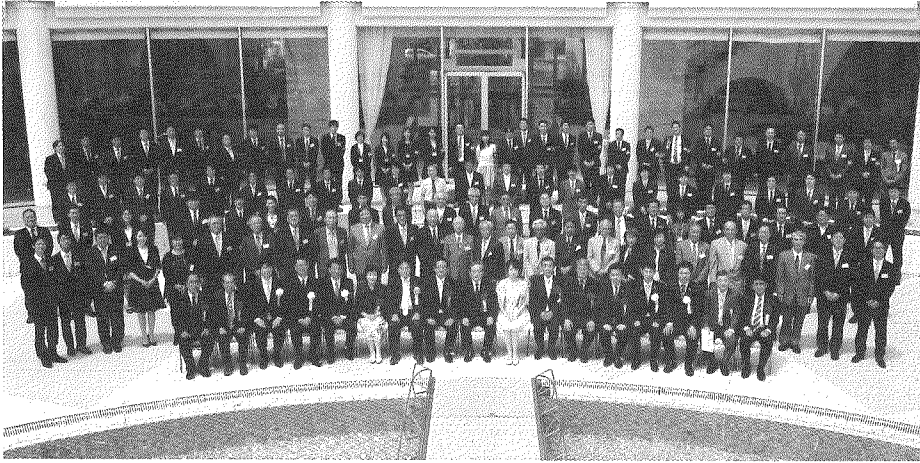
中国地区 氏子青年 神道青年 合同研修会」 何と二二〇人が牛窓へ!!

六月二十日(土)～六月二十一日(日)の日程にて、第四十八回中国地区氏子青年・新道青年合同研修会が、牛窓のホテル・リマーニを主会場に開催され、延べ二二〇余名の参加者を得ることができ、充実した一泊二日の研修会となりました。

中国五県の若手の神職さんと、各神社を支える氏子青年の人達との合同研修会は、各県持ちまわりで行われ、五年に一度は岡山県が担当して開催しています。牛窓神社権祢宜、岡崎瑞枝さんの約一年前にさかのぼる開催地検討会議の席上での熱心なるプレゼンテーションの結果、岡山市、倉敷市を抑えて今回の牛窓開催が決定されました。平成六年に第二十七回目の同研修会が牛窓で開催されてから、実に二十一年目の快挙です。

講演会にディスカッション、懇親会、瀬戸内海クルージングと内容も充実、盛りだくさんの成果が上がった今回の研修は、岡山県神道青年協議会及び岡山県氏子青年協議会の総力を結集して、大成功に終了致しました。

なお、参加者の皆様には揃って二十一日の早朝、牛窓神社へ正式参拝の祈りを納めていただきました。



第48回中国地区氏子青年・神道青年合同研修会 平成27年6月20日 於ホテルリマーニ

寄稿文

牛窓神社のキセキ

兵庫県尼崎市

神田直子

私が牛窓神社へお参りした後、信じられないような急激な変化がありました。それは感謝溢れる出来事の連続。

そのお話をさせていただきます。

私が岡山県の牛窓を知ったのは今から二十五年程前、確か二十歳の頃だったと思います。雑誌で掲載されていた「日本のエーゲ海・牛窓」の文字、砂浜で綺麗な女性と大型犬が遊んでいる写真をみて、なんて素敵なおとこなんだろう！いつか私も行ってみたい!! と思っておりました。

当時は大阪に住んでおり、遠くへ行かない程ではありませんでしたが、なかなか縁が無く、近くても遠い牛窓、なんて思っていた時もありました。

そして確か四年前くらい前だったと記憶していますが、思いがけず牛窓の名前を耳にしました。

それは私の経営するサロンの、お客様の娘様のお友だちでいらっしゃる、岡山県備前市出身のやすえさん。そのやすえさんに初めてお逢いした日に、彼女から牛窓神社のお話をお聞きしました。そのお話にとっても感動し、改めて牛窓に、そして是非牛窓神社に行こうと心に決めました。

早速宮司さんにお手紙を送ったら、直ぐにお返事をいただき、何時でもお越しくださいと仰っていただきました。

しかし、その頃は独立したばかりで、小さなマンションでアロマセラピーとハワイアンロミロミのサロンを始めたところ。ひとりきりで営業のため暇も無く、牛窓に行こうと決めたものの、なかなか機会に恵まれませんでした。

そしてサロンを始めて三年が経った頃、それまでずっとひとりで頑張ってきたのですが、仕事の広がりも無く先行きが不安になり、果たしてこのままでよいものか?と考えるようになりました。

仕事での目標がありましたのでスキルアップのためにも勉強がしたいけど、ひとりでサロンをやっていると、なかなか身動きが取れない、休むとお客様が離れて行きそうで勇気が無く、しかしこのままではいつか仕事の限界が来そうと悩んでおりました。その上プライベートでも悩みが沢山あった頃でしたので、気持ち減入るばかりでした。そんな時に牛窓神社のことを思い出し、今だ!今回は絶対に行こうと決めて、宮司さんから頂いた葉書は手帳に何時も入れていましたので直ぐに電話して日取りを決め、一泊二日で岡山県牛窓へと出かけました。恥ずかしながら四十過ぎての初の一人旅が牛窓です!

きっと牛窓神社の神様はこの時をお知りだったのでしょね? やつと牛窓に導きいただくことができました。

着いた日は憧れていた牛窓の海沿いを

歩き、ゆっくりと町を散策しながら牛窓神社へ。

海側から牛窓神社の大きな鳥居をくぐり、参道を歩き森へ入ると空気が変わるのを感じながら展望台へ行き、周りの景色を楽しんだ後、いよいよ境内へ。

牛窓神社の神様にご挨拶をすませて、宮司さんにお逢いしました。そして宮司さんからも一度、牛窓神社の神様に私のことを紹介していただきました。

その日は民宿大陣さんに泊まり次の朝、牛窓神社へ参拝させていただきました。宮司さんに祝詞をあげていただきまして、牛窓を後にしました。

それから直ぐでした。仕事に対する不安だった気持ちが落ち着きサロンの休養する決断があっさり出来たと思うと、私がやりたかった病院でのアロマセラピーのお仕事とご縁が来ました。歯車が始まるとトントン拍子で良くなり、仕事だけでなく、嬉しいご縁もあって結婚が決まりました。すると環境が良くなったせいか、私の健康状態も良くなり、私の健康だけでなく母親の体調もよくなって今では元気に一緒に過ごしています。

夫との出会いは牛窓神社の神様からのプレゼントだと思っております。そして、今も仕事は順調で、私が思い描いている仕事の方向へと向かっております。

これも、二年前に牛窓神社の神様に御参り出来たことで、善き方向へと導いていただけたのだと感謝しております。

中浦 金谷芳寛

中浦だんじり解体修復工事はじまる

昨年十一月八日、岡山県指定有形民俗文化財中浦だんじりを、一四八年ぶりに総解体修理を行うため、特定非営利活動法人(NPO)「伝統社寺建築匠の技を守る会」の井上隆正棟梁の工房がある久米郡美咲町まで、トラックによる輸送が行われました。井上棟梁は、江戸時代より五代続く歴史ある宮大工の棟梁です。岡崎義弘宮司が「被魂式」を行ったあと、だんじりの二階屋形部分を解体梱包して、高さ制限のある鉄道の踏切や高架橋を避けながら、移動距離約七〇キロメートル、時間にして二時間半にわたる大輸送が実施されました。今回の「中浦だんじり」の総解体修理は、一般財団法人自治総合センター(総務省所管団体)の宝くじの社会貢献広報事業二五〇万円の助成を受けて行われています。一昨年より吉田洋一区長にご尽力いただき、県文化財課などと折衝を重ねて、難しい書類を財団へ提出しました。瀬戸内市教育委員会は、新市立図書館建設という重大プロジェクトを抱えているため余力が無いということ、県文化財課の指示のもと筆者が識者として、意匠考証や作業工法などのデスクワークを担当することになりました。井上棟梁の点検の結果、骨組みの構造材の強度が十分に保たれているとの診断で、屋形屋根と欠損彫刻の補修優先で工事が進められました。中浦だんじりには井上棟梁配下の専属棟梁一名、助大工二名、彫り師一名がつけられ、一階、二階屋形から解体工事に入りました。

状態は特に深刻な状況で、過去の修理で首にはネジ止めのためのドリル穴が無数に開けられて無残な姿となってしまうっており、いつ文化財指定を解除されてしまってもおかしくない状況でした。中浦だんじりには、三つの謎があるとされています。

- ①製作大工が未詳である。
- ②屋根に龍などの「火除け神」が彫られていない。
- ③麒麟の首が他のだんじりより異常に短い。

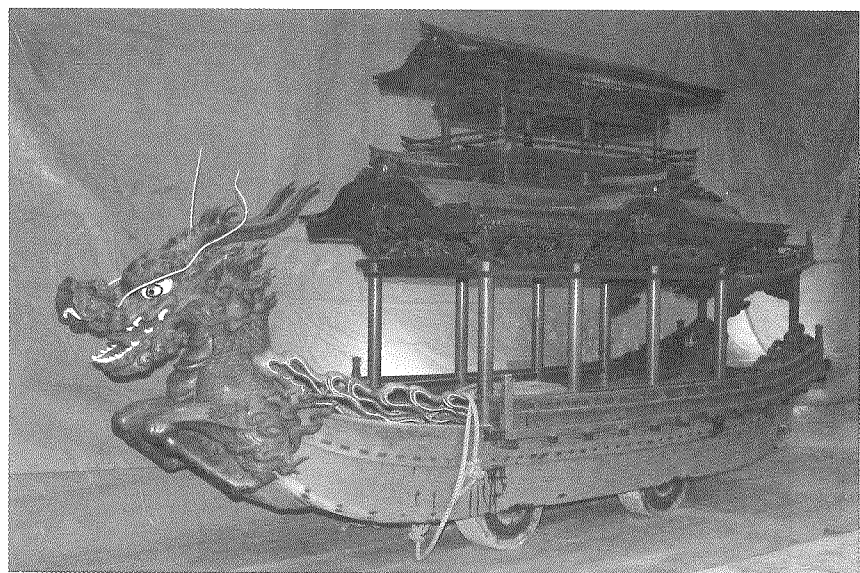
解体工事ははじまると、三つの謎が少しずつ解けてきました。牛窓・鹿忍だんじりの中で、製作大工未詳は中浦だんじりだけでしたが、二階屋形屋根の解体中、大工棟梁の墨書名が出てきました。唐破風を支える棟木に墨指(すみさし)で、「慶応二年寅八月吉日建之 大工彫物師志久毛嘉一兵衛 牛窓山手為寛」と記されていました。中浦だんじりの慶応二(一八六六)年建造という年代から調べて見ますと、「関西一の名人」と称えられ、畿内から備後まで生涯八十五棟もの社寺建築に腕をふるったという久郡宿毛村(現岡山市東区宿毛)の田淵嘉一兵衛勝義(天保八、明治三十九年(一八三七一—一九〇六))であることが判明しました(『邑久郡史』)。嘉一兵衛は牛窓・鹿忍だんじり八基のうち、半分の四基を製作していることになりました。なお、墨書名中の文言「牛窓」は中浦の住人、「山手」は宿毛村宮大工集団の田淵一統のことを指すと考えられます。

さらに、屋根の「鬼板」(家屋の鬼瓦に相当)は、現在釘穴のみで何もありませんが、飾り金具の紋章が入っていたことがわかりました。大工さんと検討した結果、軒丸瓦によく見られる「左三つ巴紋」がふさわしいということで、復元しました。欄間彫刻には一部金箔が残っているものがあり、彫刻に準じるので銅版敲き出し金箔張りとなりました。巴紋は「雷神」を象徴する紋章で、「火除け」の意味があります。時々大太鼓に描かれる巴紋を見ますが、太鼓の音は雷鳴に通じるものであり、太鼓の音が周囲を清める

意味もあります。この紋章が屋根につけられることにより、「火除け神」の彫り物を省略したと考えられます。

話は変わりますが、今回の修復工事では最新のデジタル技術が使用されています。幸い麒麟の首の改変前の戦前・戦後期の貴重な古写真や、昭和四十年代のカラーフィルムも見つかりました。それらの写真をスキヤナーで読み込ませ、パソコンを使い、画像ソフトの「画素補完法」という方法で、隣あう画素(ドット)から類似の画素を演算生成し、大きな画像サイズを得ます。こうすることで、名刺サイズのような小さな写真からでも一部を切りとり、拡大分析することができるようになります。こうして大工さんからの資料要望に的確に応えることによって、江戸期の状態に復元していています。

七月からは問題の多い、麒麟彫刻の解体にかかります。かなり痛みがひどく、難工事になります。麒麟の首に関する謎も解き明かすことができるか注目されます。



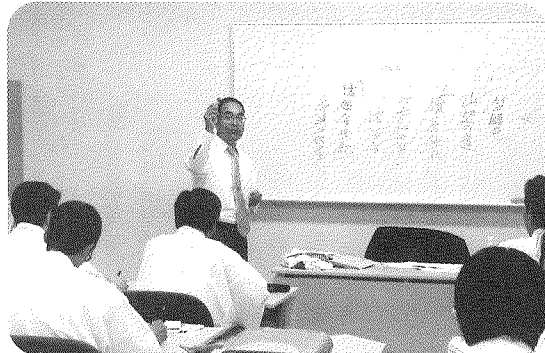
江戸時代の姿を取り戻しつつある中浦だんじり

宮司さん「伊勢の神宮」について その本義を説く

神社界では、神職の辞令を受けてよりなるべく五年以内に「初任神職研修」が義務づけられています。

第二十七回目の「初任神職研修」が岡山県神社庁にて行われ、六月二十七日(土)には、牛窓神社岡崎宮司が講師として、十七名の受講者に「神宮史概説」のテーマのもと、伊勢の神宮の歴史について詳述致しました。

「皆さん、とても熱心に耳を傾けて下さったので、ついでに力が入りました」と岡崎宮司。



岡崎瑞枝権禰宜さん 華麗に浦安の舞いを奉納

毎年三月十二日が、岡山県神社庁の設立記念日に当たり、当日は「神殿祭」が厳粛に執り行われます。今年も「神殿祭」が催行され、岡山県神社庁 祀委員会 祭祀舞部に所属して、研鑽を積んでいる、牛窓神社権禰宜の岡崎瑞枝さんが華麗な浦安の舞を見事に奉納して祭典に華を添えました。

